

みかんの花咲く丘

歌手・川田正子さんが歌って、戦後最もヒットした童謡といわれる「みかんの花咲く丘」の誕生に、国府津が重要な役割を果たしていました。

作詞家 故 加藤省吾氏の談

戦後間もない昭和21年8月、NHKのラジオ放送「空の劇場」で、伊東(静岡県)と東京で初めて二元放送を行うことになった。

「このときに歌う歌詞を何か書いてくれないか」雑誌「ミュージックライフ」の記者をしていた加藤省吾は、取材のために訪れた川田正子の家で、作曲家・海沼実から突然頼まれた。二元放送を行う前日のことである。加藤は静岡出身で、そこは丘から海が見えて、みかんの獲れる場所だったことから、それを歌詞にした。また、帰郷兵が家に戻ったとき、すでに母は亡くなっていてという話を聞き、歌詞の最後を「やさしい母さん思われる」と結んだ。

歌詞を受け取った海沼は明日を本番に控え、伊東に行く汽車の中、国府津駅前前の前川付近にさしかかると、車窓から歌謡のようなみかん山と海が見えてきた。このとき汽車の音のリズムに似た前奏のメロディが浮かび、伊東に着くころには曲が完成。旅館の風呂場で川田正子に歌を練習させ、翌日、無事に放送。その後大ヒットとなった。(前川在住 石塚昇氏が聞く)

何かを感じるこの国府津、作詞家と作曲家、そしてイメージびっぴりの自然があったからこそ、不滅の名曲「みかんの花咲く丘」は生まれたのです。



曾我物語

領地の相続権争いがもとで、安元2年(1176)伊豆の奥野(現静岡県伊東市)で、主人公の兄弟の父・河津三郎祐康(かわづさぶろうすけやす)は、工藤祐経(くどうすけつね)の郎党によって非業の死を遂げました。夫・河津三郎祐康を失った満江御前は、幼い一萬丸・箱丸の兄弟を連れて、曾我の豪族・曾我太郎祐信(そがたろうすけのぶ)のもとへ入りました。

曾我の里で育てられた兄弟は、長じて元服し、曾我十郎祐成・五郎時致(そがじゅうろうすけなり・ごろうときむね)と名乗り密かに父の仇を討つと機会を狙っていましたが、建久4年(1193)5月28日、源頼朝が富士山麓で巻狩りを催したとき、夜中に仇・工藤祐経を討取って、本懐を遂げました。十郎祐成は討死、五郎時致は捕らえられ、処刑されました。

曾我物語は近世以来、幸若舞、謡曲、歌舞伎、木版本、浮世絵などで広く大衆の人気を得て、今日に至っています。



世界文化遺産の富士を仰ぐ

～関東富士見百景～

「関東富士見百景」は、国土交通省関東地方整備局が、富士山を背景とした良好な眺めを得られ、景観の保全や活用が望まれる公共空間について、関東1都8県の128景(233地点)を選定したものです。

小田原市では「栢山から見た富士」、「梅林と富士山」、「国府津・曾我丘陵ウォーキングコース」が選ばれ、このうち2か所が東部ウォーキングコースでお楽しみいただけます。

国府津曾我丘陵ウォーキングコース



国府津・曾我丘陵からは富士山を背景に箱根連山、真鶴半島、伊豆半島や相模湾、小田原の市街地が一望できます。(コース上の富士見ポイントは西山農道休憩所など。曾我の里散策コースの見晴台もおすすめです。)

梅林と富士山



曾我物語ゆかりの地として知られる曾我の里には「曾我梅林」が広がり、富士山と箱根の山々を背景に約3万5千本の梅の花が咲き誇ります。梅まつりの期間中には、流鏝馬や郷土芸能の小田原ちようちん踊り、獅子舞などが行われます。

花咲く道を歩こう

田島桜の里(3月中旬～4月上旬)

全長1319mの下曾我剣沢を源流とする、田島剣沢川の両側堤防約700mには、400本余のソメイヨシノ・おかめ桜が植えられています。おかめ桜はソメイヨシノよりも早咲きで、3月中旬頃濃いピンクの可憐な花をつけます。3月下旬から4月上旬まで「田島桜まつり」も開催されます。



曾我梅林(2月上旬～3月上旬)

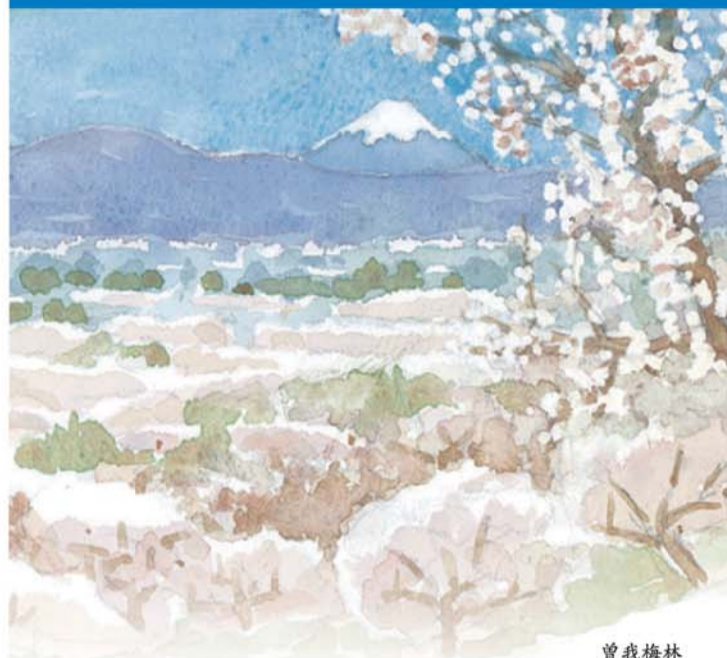
曾我梅林は、別所、原、中河原の3つの梅林からなり、白い花が可憐な十郎をはじめ、白加賀、杉田など多くの白梅が咲き誇り、紅梅やしだれ梅もお楽しみいただけます。国府津・曾我の里散策コースでは、3つの梅林を巡ることができ、見晴台から梅の里を眺めるのもおすすめです。

中河原配水池の桜  
コース外になりますが、中河原配水池までちょっと足を延ばせば、丘の上に咲く桜が楽しめます。



ウォーキングタウンおだわら 散策マップ

東部版



曾我梅林



・車に気をつけて、適度な休憩と水分補給を忘れずに、散策をお楽しみください。  
・野生の動物等(サル、イノシシ、ヘビ、ハチ等)が出没することがありますので、十分に注意して歩行してください。

お問い合わせ

- ◆小田原市観光課 ☎0465-33-1521  
<http://www.city.odawara.kanagawa.jp/kanko/>
- ◆小田原市観光協会 ☎0465-22-5002  
<http://www.odawara-kankou.com/>
- ◆小田原駅観光案内所 ☎0465-22-2339

ウォーキングマナー5箇条

- ・やおはよう明るい挨拶さわやかに
- ・信号で、あわてずあせらず待つ余裕
- ・ひろがるな、参加者だけの道じゃない
- ・自分のゴミ、自分の責任もち帰り
- ・歩かせていただく土地に感謝して

散策マップは東部版のほか中央版と西部版があります。見どころいっぱい的小田原市観光情報はこちらから。



1 眞楽寺

聖徳太子の開基にして天台宗の寺でしたが、親鸞上人が浄土真宗に改宗しました。寺宝には親鸞上人自作の木造や阿彌陀如来御絵像などがあります。境内には、市指定天然記念物のボダイジュがあります。



2 菅原神社

祭神菅原道真公を祀る菅原神社は、学問の神として入学受験者の合格祈願や崇敬者の参拝で賑わっています。境内には、わらべ歌「通りゃんせ」発祥の碑や市指定天然記念物のムクノキなどがあります。



3 光明寺

元は真言宗の寺でしたが、永仁5年(1297)、時宗の二代目である遊行二祖他阿真上人(ゆぎょうにそたあしんきょうしょうにん)との結縁により時宗に改宗されました。鉄道建設のため、境内地が300坪余になり、現在地に移転しました。



4 宝金剛寺

天長6年(829)、弘法大師の十大弟子の一人、果隣(ごうりん)大徳により開基されました。戦国時代には、小田原北条氏の祈願所として篤い信仰を受けました。庫裏は国の登録有形文化財、寺宝の大日如来坐像は国の重要文化財に指定されています。【国府津建武古碑】死者の往生と仏果を本願とし、根府川石を利用した地方色豊かな表情の古碑で、造立は建武5年(1338)です。



5 田島横穴古墳群

古墳群は4か所あり、合計32穴が存在しています。古墳時代中期から末期頃のもので、豪族の墓といわれています。



6 一徳寺

天陽山と号する臨済宗建長寺派の寺院で、創建は永仁6年(1298)で、開山は雪庭白禪師と伝えられています。今は臨済宗のお寺ですが、かつては天台宗であったといわれています。本尊は行基作と伝えられる釈迦如来坐像です。



7 玉泉寺

正応4年(1291)に開山した臨済宗の寺です。墓地には大磯鴨立庵の俳人三浦柴居(みうらさいぎよ)の墓や、門外には唐の国より経文が渡来する際、船底に積まれていた経石名号石(きょういしみやうごうせき)などがあります。



8 六本松跡

曾我山(当時は山彦山)の峠道で、六本の古松がありました。鎌倉時代には、曾我氏、中村氏、松田氏、川村氏の各豪族の居館と鎌倉を結んでおり、足柄道、鎌倉道、大山道、箱根道が交わる重要な峠で現在は芭蕉の句碑と孤山人(宗我神社神官)筆の六本松碑があります。



9 法蓮寺

小田原市小八幡の海で魚網にかかって出現したといわれる木彫毘沙門天立像があります。寺の北側の墓地内に曾我兄弟の母、満江御前の墓があります。



10 東光院

剣沢の東にあった南谷寺で文禄12年(1593)に現在地に移転しました。徳本の名号碑ほか石造物群があります。



11 伝曾我祐信宝篋印塔

塔の高さ2.2m、造塔年代、造立者、石工、造塔の意図など一切不明。基壇の上に座、基礎、塔身、笠、相輪の順で積み上げられたもので鎌倉時代の関東における基本的様式を備え、市の重要文化財に指定されています。



12 城前寺

曾我兄弟ゆかりの寺。境内には十郎、五郎、父曾我太郎祐信、母満江御前の供養塔、寺宝として曾我兄弟及び虎御前の木像が本堂に安置されています。



13 法輪寺

曾我氏ゆかりの寺。小沢明神(現在の宗我神社)の本地仏(神体仏)であった薬師如来と日光、月光の両菩薩は藤原時代の作といわれ文化財としても貴重です。



14 宗我神社

旧曾我六ヶ村の総鎮守。曾我郷を拓いた宗我部比古命(そがつひこのみこと)を祀っています。小田原北条氏の時代から小田原城鬼門擁護の神社とされていました。



15 瑞雲寺

中河原梅林の中にある寺で、縁結びと子宝を授かると伝えられる「洗心池とめん玉弁天」があり、曾我兄弟が父の仇を討つために願文を納めて「十人力」を授けられたという「力不動尊」が安置されています。市指定天然記念物の市内最大級のモッコクがあります。



16 梅の里センター

小田原特産の梅を活かした農業振興と地域の活性化を図る「梅の里づくり」事業の中心施設として建設されました。梅干しの展示とパネルで梅の里を紹介しています。散策の途中のお休み場所としてご利用ください。

コースからちょっと寄り道



A 風外窟

江戸時代初期に、住職生活を嫌いこの洞窟で修行して多くの水墨画を残した、禅僧風外慧薫(ふうがいえくん)が穴居した岩窟です。



B 田島五輪塔

五輪塔45基と宝篋印塔(ほうきょういんとう)などがあります。近くにある礎石と思われるものは寺院跡であると推測され、比較的規模の大きな墓地であったといわれています。



### 曾我の里散策コース（見晴らしコース）

時間 約2時間 距離 8km

下曾我	原梅	別所	見晴	六本	伝曾我	城前	宗我	瑞雲	中河	梅の	下曾
8分	8分	24分	16分	12分	24分	6分	12分	4分	12分	1分	
500m	600m	1500m	1000m	700m	1500m	300m	700m	200m	900m	100m	
駅	林	林	台	跡	塔⑪	寺⑫	社⑭	寺⑮	林	センター⑯	駅

### 曾我の里散策コース（里コース）

時間 約1時間30分 距離 5.5km

城前	宗我	瑞雲	中河	梅の	下曾
6分	12分	4分	12分	1分	
300m	700m	200m	900m	100m	
寺⑫	社⑭	寺⑮	林	センター⑯	駅

下曾	原梅	別所	法蓮	別所	東光
8分	8分	8分	3分	10分	
500m	600m	600m	100m	800m	
駅	林	林	寺⑨	師堂⑩	院



御殿場線沿いにある原梅林では2月中旬頃、流鏝馬が行われる。



見晴台からの眺め。



桜の季節、訪れたい沼代桜の馬場。上町隧道、六本松跡から約2キロ。



眼下に国府津駅と海が広がる。

### 国府津・曾我丘陵ウォーキングコース

時間 約3時間 距離 10.2km

一本松	上町	五国	西山	光明	菅原	眞楽	国府
25分	20分	6分	24分	2分	9分	6分	
1400m	1100m	500m	1300m	200m	500m	300m	
跡	隧道	峠	農道休憩所	寺上ノ山農道入口③	社②	寺①	津

下曾	梅の	中河	瑞雲	宗我	城前	伝曾我	六本
1分	12分	4分	12分	6分	24分	12分	
100m	900m	200m	700m	300m	1500m	700m	
駅	センター⑯	梅林	寺⑮	社⑭	寺⑫	塔⑪	跡⑧

### 国府津・曾我の里散策コース

時間 約2時間40分 距離 7.9km

下曾	瑞雲	天津	宗我	法蓮	城前	東光	二宮	法蓮	玉泉	田島	一徳	宝剛	菅原	眞楽	国府
18分	11分	8分	4分	8分	11分	8分	10分	13分	18分	4分	18分	8分	9分	6分	
900m	600m	400m	200m	400m	600m	400m	500m	700m	900m	200m	900m	400m	500m	300m	
駅	寺⑮	社	社⑭	寺⑬	寺⑫	院⑩	遺髪塚	寺⑨	寺⑦	群⑤	寺⑥	寺④	社②	寺①	津

- 【凡例】
- トイレ
- 天然記念物
- 道標
- 眺望スポット
- コース案内
- 富士見ポイント



相模湾